

(講座) 分子創薬科学講座

(研究室名) 天然物化学研究室

(氏名) 河野 功

(職名) 教授

【研究テーマ】

1. イリシウム属有毒植物に関する研究
2. ポリフェノールに関する研究
3. 中国産薬用植物に関する研究
4. マレーシア産薬用植物の成分研究
5. 長崎に自生する菌類の代謝産物の研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

- 1) Li, H., Tanaka, T., Zhang, Y.-J., Yang, C.-R., Kouno, I.; Rubusuaviins A-F, monomeric and oligomeric ellagitannins from Chinese sweet tea and their α -amylase inhibitory activity, *Chemical and Pharmaceutical Bulletin* 55(9) 1325-1331 (2007) (IF 1.262, CB 0)
- 2) Tanaka, T., Nakashima, T., Ueda, T., Tomii, K., Kouno, I.; Facile discrimination of aldose enantiomers by reversed-phase HPLC, *Chemical and Pharmaceutical Bulletin* 55(6) 899-901 (2007) (IF 1.262, CB 1)
- 3) Li, Y., Tanaka, T., Kouno, I.; Oxidative coupling of the pyrogalloyl B-ring with a galloyl group during enzymatic oxidation of epigallocatechin 3-O-gallate, *Phytochemistry* 68(7) 1081-1088 (2007) (IF 2.417, CB 0)
- 4) Yuan, D.-Q., Koga, K., Kouno, I., Fujioka, T., Fukudome, M., Fujita, K.; The first topologically controlled synthesis of doubly bridged β -cyclodextrin dimers, *Chemical Communications* (8) 828-830 (2007) (IF 4.521, CB 0)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 茶カテキン及びテアフラビン酸化機構に関する研究、李 岩、柴原あかね、田中 隆、河野 功、日本薬学会第127年会(富山) 30P1-am271.
2. 紅茶に含まれる新しいテアシネンシン異性体の構造及び生成機構、松尾洋介、渡海明郁、林 利美、田中 隆、河野 功、日本薬学会第127年会(富山) 30P1-am287.
3. 16種のナイジェリア産薬用植物エキスの抗トリパソノーマ活性、Nasir Shuaibu, Ponchang Wuyep, 神原廣二、柳 哲雄、田中 隆、河野 功、日本薬学会第127年会(富山) 28P1-am217.
4. カテキンと共存フラボノイドの酸化縮合によるキメラポリフェノール色素の合成、川ノ上仁美、田中 隆、河野 功、日本薬学会第127年会(富山) 30P1-am294.
5. 樽ポリフェノールの生成機構に関する研究、李海舟、前田裕子、田中 隆、河野 功、

日本薬学会第127年会（富山） 30P1-am290.

6. 逆相 HPLC による糖絶対配置決定法（2）、中島達也、富井健司、上田敏久、田中 隆、河野 功、日本薬学会第127年会（富山） 30P1-am228.

7. ツチトリモチから得られるポリフェノール成分の生物活性、細井雄仁、田中 隆、河野 功、姜 志宏、日本薬学会第127年会（富山） 30P1-am305.

8. 逆相 HPLC による糖絶対配置決定法（3）、中島達也、田中 隆、河野 功、上田敏久、日本生薬学会第54回年会（名古屋）、1P-B23.

9. ツバキ種子油粕の新規フラボノール配糖体およびツバキ葉ポリフェノールの季節変動、川内美也子、田中 隆、河野 功、久林高市、日本生薬学会第54回年会（名古屋）、2P-B18.

10. 紅茶色素テアフラビン類の酸化におけるガロイル基の影響、松尾洋介、李 岩、田中 隆、河野 功、日本生薬学会第54回年会（名古屋）、2P-B19.

11. **Epicathechin-3-O-gallate** の酸化により生成する三量体および四量体の構造と生成機構、日本生薬学会第54回年会（名古屋）、2P-B20.

【研究費取得状況】

1. 表題・項目

基盤研究C（継続）：生活習慣病をターゲットとする新規ポリフェノール素材の開発研究

【学会役員等】

1. 日本生薬学会 九州地区幹事

【過去の研究業績累計】

原著論文（欧文）	121	（邦文）	8
総説	1	（邦文）	0
著書	5	（邦文）	1
紀要	6	（邦文）	1
特許	2		